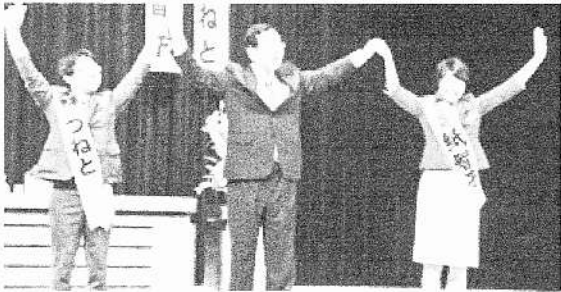


民報 ゆうばり

「安全・希望・平和な日本の夜明けを！」札幌演説会

TPP阻止道民集会、5000人が参加！

志位和夫委員長を迎えて 演説会開催される！



6月9日札幌市ニトリ文化ホールで志位委員長を迎えた日本共産党演説会は2600名の聴衆が参加し開催されました。夕張からはマイクロパスで19名が参加しました。

以下志位和夫委員長の演説要旨を紹介します。

- ◆ ◆ ◆

比例代表で紙さんら5人の勝利、若さ輝く森候補を参院へ

参議院選挙が目前に迫りました。北海道から2つの勝利を勝ち取らせていただきます。比例代表選挙で紙さんも含め5人全員の勝利のためお力をお貸しください。北海道選挙区では、35歳、若さ輝く森さんを1回でどうか国会に押し上げてください。

首相は「株が上がった」と自慢しておりましたが、この2週間、東京株式市場の株が大暴落するという事態が起こりました。株も円も「乱高下」もはや「アベノミクス」は制御不能に陥りつつあります。なぜこんなことが

参院選 5つの争点

- 1 暮らしと経済をどうするか
- 2 原発—再稼働、輸出の暴走を許すのか
- 3 アメリカのいいなり政治でいいのか
- 4 憲法をめぐる対決
- 5 歴史問題をめぐる対決

起こっているのか。暮らしの部分で冷えて込んだまま、賃金下がりがつばなし、中小企業への貸し出しは史上最低、設備投資が5期連続マイナスなんです。



一方、急激な円安で小麦など輸入食品が上がる。生活用品、電気・灯油などが上

働く人の賃金を増やし、安定した雇用を増やす。これこそデフレ不況から脱却する一番のカギなのです。

大企業の260兆円ものため込み金の1%を取り崩す、これを政治のイニシヤチブでやらせようというのが共産党の提案です。

関税が撤廃されると日本の農業は壊滅です。また、非関税障壁撤廃となれば国民皆保険が壊されます。

公約破りの自民党と民主、維新、みんな、などTPP推進

共産党はどうするのか

①暮らしと経済をどうするか

②原発—再稼働、輸出の暴走を許すのか

③アメリカ言いなりの政治でいいのか

④憲法をめぐる対決

改憲派は憲法九条を改変したいが、たいへんだという思惑で、憲法96条から手をつけた党略的浅知恵で動き出した。国会による憲法改定の発議要件を、現行の3分の2以上から過半数に緩和しようというのは、一般の法律並みに憲法をかえられるようにする。これは、憲法を憲法でなくする邪道であります。

⑤歴史問題をめぐる対決

安倍・橋下らの侵略と植民地支配正當化の逆行

「村山談話」のい

撤回し、原発0へ

いまだ収束していない原発事故に対して、政府は原発再稼働させようともくろんでいます。原発には安全基準というものはありません。原発を海外に輸出しようとしています。死の灰の商人になるなといいたい。

自然エネルギーは多様な組み合わせ網を持つべきで、安定した電力が確保できます。太陽光、風力、水力、地熱、バイオマスなど。

の諸党にきびしい審判を下し、TPPへの暴走にストップをかける選挙にしよう。

改憲派は憲法九条を改変したいが、たいへんだという思惑で、憲法96条から手をつけた党略的浅知恵で動き出した。国会による憲法改定の発議要件を、現行の3分の2以上から過半数に緩和しようというのは、一般の法律並みに憲法をかえられるようにする。これは、憲法を憲法でなくする邪道であります。

(1面からつづく)

地支配と侵略をおこなった、そのことへの痛切なおわびについて、首相は認めようとはしない。日本が敗戦のとき受諾したポツダム宣言には、日本の戦争が世界征服を目的とした戦争だった、侵略戦争だったことを明確に弾劾しています。

日本の夜明けに つながる躍進の 一歩を

いまの日本の政治は古い政治が壊れて、崩れて、新しい政治に変わる夜明け前の時代にさしかかってきました。こんどの選挙、たたかいぬいて、その夜明けにつながる躍進の第一歩を必ず勝ち取りたい。誰しもが安心し、希望をもって暮らせる日本、平和な日本をつくる、そういう選挙にしていこうじやありませんか。

TPP阻止道民集会

日本の将来のために 絶対阻止しなければ



横断幕を先頭に行進する夕張からの参加者

札幌大通公園に 5000人

6月15日、「TPP参加撤回を求める道民集会」が札幌市大通公園で開かれ、全道各地から5000人、夕張からも18人が参加しました。鈴木宣弘氏(東京大学大学院教授)、飯沢理一郎氏(北海道大学名誉教授)が呼びかけて食農連絡会などでつくる実行委員会の主催で開かれました。

民主団体・個人が賛同者になりました。呼びかけ人の鈴木氏が基調報告し「TPPは日本にとって屈辱的な内容で、条件闘争は通用しません。日本の将来のために、絶対に阻止しなければならぬ」と強調しました。

実行委員会は各政党に参加を呼びかけ、自民党、民主党、公明党は不参加。新党大地、社民党は参加しました。日本共産党の紙智子参院議員が「大事なのは絶対にあきらめないでたたかうこと。TPP参加撤回は圧倒的な国民の利益に合致したたたかいです」と参加者を激励すると、大きな共感の拍手が起きました。夕張からの参加者は、会場にはためく各団体ののぼり旗を見て「運動の広がりを感じる、夕張農協も反対表明した、ますます大事なたたかいになる」と決意を新たにしていました。

参院比例代表候補に

道TPP阻止、くらし雇用対策本部長

木村けんじ

162



【主な経歴】
1953年 札幌市生まれ
1976年 札幌市立大学卒業
1977年 札幌市立大学教員
1980年 札幌市立大学教員
1983年 札幌市立大学教員
1985年 札幌市立大学教員
1987年 札幌市立大学教員
1989年 札幌市立大学教員
1991年 札幌市立大学教員
1993年 札幌市立大学教員
1995年 札幌市立大学教員
1997年 札幌市立大学教員
1999年 札幌市立大学教員
2001年 札幌市立大学教員
2003年 札幌市立大学教員
2005年 札幌市立大学教員
2007年 札幌市立大学教員
2009年 札幌市立大学教員
2011年 札幌市立大学教員
2013年 札幌市立大学教員

国会「かけある記」

日本共産党 参議院議員

紙 智子

TPP断固阻止の大きなうねりを参院選挙へ！

十四日、熱い激戦の火蓋がきつて落とされた東京都議選応援で、中野区、杉並区に入ったあと、十五日朝、羽田をたつて、札幌大通公園での「TPP参加撤回を求める道民集会」に参加しました。

羽田から千歳に到着したときは、雨。JRエアポートに乗って、札幌に着くと、晴れ間が見え「よしよし」と会場の大通路、晴天です。一気に夏になりました。お天気にも後押しされ、気温はぐんぐん上昇。さえぎるものがない壇上は直射日光の下、じりじりと強い日差しです。

集会が始まって、参加者の発言、呼びかけ人の飯沢理一郎北大名誉教授の挨拶、鈴木宣弘東大大学院教授の基調報告、十勝町村会長・高橋正夫本別町長の「十勝は地域をあげて絶対阻止でがんばります！」の力強い挨拶になると、五〇〇〇人の参加者の熱気は最大級に上昇。JA北海道中央会の飛田稔章会長もメッセージを寄せてくれました。

道東などいくつかのJA組織からも参加。一四〇団体・個人が賛同し、道東は釧根、十勝、北見、函館、空知、苫小牧からも、小樽・後志からもストップTPPののぼりを持って参加。「公約を破り、国民を裏切るところは許さない！未来のために今こそTPP阻止！」との、強いメッセージを示す集会は大成功でした。

ここからが、本番です！さらに大きなうねりにして、TPP断固阻止の意志を、日本共産党の参院選勝利で示しましょう！